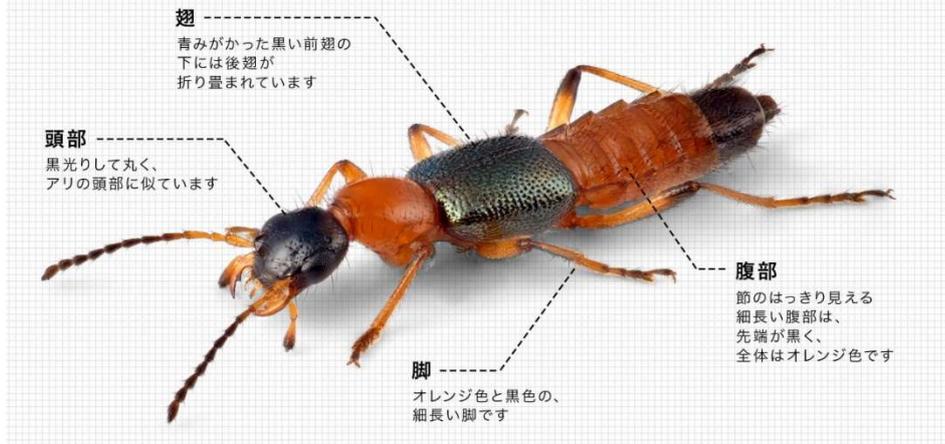


# [毒を出す] 絶対に触ってはいけません アオバアリガタハネカクシ



## 生態について

分類	甲虫の仲間
住んでいる地域	北海道～南西諸島
大きさ	6～7mm
成虫が見られる時期	1年中

### Q.1 どこにいますか？

田んぼや河原、池や沼など、湿った場所の地面に暮らしています。昼間は石の下などで休んでいて、暗くなると明かりに集まる性質があります。



## アオバアリガタハネカクシの

## Q & A

### Q.2 毒はどこから出ますか？

天敵の小鳥などに食べられないように、体液に毒が含まれています。その為、体を潰したり、傷つけたりすると、毒を含んだ体液が出てきます。

### Q.3 触るとどうなりますか？

体液に触れた部分が赤くなり、時間が経つと水膨れになります。激しい痛みが続くこともあります。この症状がやけどに似ていることから、別名「やけど虫」と呼ばれます。



▲ 本当の大きさ※  
※1目盛り=1mmです。ご利用環境により、大きさは異なって見えます。



▲ 後翅を畳もうとしているところ  
写真はツヤムネハネカクシの仲間

アース製薬 HP より 20250626

**EARTH アース製薬**

<https://www.earth.jp/mushicare/mushi05/>

## キケンな虫の真実

### ハネカクシの翅の畳み方が 宇宙開発を進める！？

ハネカクシはカブトムシと同じ甲虫の仲間。硬くて小さい前翅の下に、長い後翅をさっちゃんりしまっているのが最大の特徴です。翅を一枚ずつ別に畳む他の甲虫と違い、ハネカクシは2枚の翅を重ねて、小さく畳めます。もちろん、広げる時は一瞬ですし、丈夫です。この畳む手順を応用して、宇宙空間で使う太陽電池パネルの運搬に活用できないか、研究が進められています。

